

基礎看護学Ⅱ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 6時間 演習 16.5時間
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

基礎看護学Ⅰの学修を基に、健康的な日常生活を促進する基礎的な援助技術について学ぶ。具体的には、全身清拭・手足浴・洗髪のような清潔を保つ援助、食事介助・口腔ケア・経管栄養のような食事行動への援助、床上排尿・床上排便・浣腸のような排泄の援助、褥法を用いて安楽を促す援助などのそれぞれの技術を修得する。

・教育成果（アウトカム）

実施する看護技術(清潔、食事、排泄)の原理・原則を理解し、手順どおりに行うことに集中するのではなく、相手に不快な思いや苦痛を与えないような方法を考えて実践できるようになる。授業内容の理解、演習への積極的な参加、主体的な自己学修（視聴覚教材の利用を含む）を通してその方法を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4

・到達目標（SBO）

1. 清潔、食事、排泄が健康に及ぼす意味を理解できる。
2. 清潔援助技術を修得する。
3. 食事援助技術を修得する。
4. 排泄援助技術を修得する。
5. 褥法の援助技術を修得する。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、(矢) マルチ 4-A 講義室
 (矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/14	火	1	共通基盤看護学講座	柏木ゆきえ 特任准教授	身体の清潔を援助する技術① ・清潔の意義と援助の目的を説明できる ・入浴の意義と身体への影響、入浴援助の方法を説明できる
9/24	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	食事・栄養摂取を促す技術① ・食事・栄養摂取の意義とそのしくみ、援助の目的を説明できる ・経口摂取以外の栄養摂取方法について挙げることができる ・経管栄養を必要とする対象者への実際の援助方法および留意点を述べる ことができる
10/18	月	3	共通基盤看護学講座	小林 由美子 講師	排泄を促す技術① ・排尿・排便の意義とそのしくみを説明できる ・様々な状況に応じた排泄援助の方法と留意点を説明できる
11/5	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授	褥瘡法 ・褥瘡法の意義、適用と効果、留意点について説明できる ・褥瘡法の実施ができる

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/14	火	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術②(清拭) ・清拭の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる
9/17	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術③(清拭) ・清拭の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた手浴を実施できる

9/17	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術④（足浴） ・ 足浴の方法と留意点を説明できる ・ 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた足浴を実施できる
9/24	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	食事・栄養摂取を促す技術② （食事介助）（口腔ケア） ・ 経口摂取できる患者への食事介助の方法と留意点を説明できる ・ 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた食事介助および口腔ケアの実施ができる
10/22	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術⑤ （洗髪）（整容） ・ 洗髪の方法、目的、留意点を説明できる ・ 整容の方法、目的、留意点を説明できる
10/25	月	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	排泄を促す技術② （陰部洗浄）（おむつ交換） ・ 根拠に基づいた陰部洗浄とおむつ交換が実施できる
10/25	月	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	排泄を促す技術③ （グリセリン浣腸・便器） ・ 根拠に基づき、安全な浣腸の実施ができる
10/29	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術⑥（洗髪） ・ 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる
10/29	金	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術⑦（洗髪） ・ 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる

11/8	月	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認① ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる
11/8	月	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認② ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版	志自岐康子 松尾ミヨ子 習田明裕 金壽子編集	メディカ出版	2017
参	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版	任和子 井川順子 秋山智弥 編集	医学書院	2017

・成績評価方法

筆記試験 70 点、演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする。
演習への取り組み：演習時の実施状況（参加態度・事前準備）、学修課題の実施状況（提出期限厳守・記載内容・視聴覚教材の視聴状況）、技術到達度の状況

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“e ナーストレーナーの動画”または、“WebClass にあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。

技術到達度の評価は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表3）：専門分野Ⅰ 基礎看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	清拭・洗髪・陰部洗浄・寝衣交換
演習	清拭車、タオルウオーマー	2	清拭
演習	洗髪車	2	洗髪
演習	ガーグルベースン	24	口腔ケア
演習	尿器	12	排泄
演習	便器	12	排泄
演習	女性用陰部モデル	12	排泄（浣腸）